

第26回景況調査報告

1 調査概要

小田原箱根商工会議所では、管内商工業者の最新の景況感や経営状況を把握し、今後の当会議所の諸施策等に資するため、会員各位の協力を得て平成23年8月下旬に郵送してこのアンケートを実施した。

今回は、会員2,941社(前回2,973社)を対象に調査を行い、923社から回答を得た。回答率は31.4%(前回29.5%)となり、前回より1.5ポイント上がった。

調査の結果は、DI(Diffusion index、業況など項目ごとに半年前および半年後と比べ、プラス要素の比率からマイナス要素の比率を差し引いた数値)により示している。

	全体	小 田 原 市			箱根町
		計	中心市街地	中心市街地以外	
調査対象	2,941	2,492	979	1,513	449
回答者数	923	813	283	530	110
回答率	31.4	32.6	28.9	35.0	24.5

2 調査結果の概要

【 総 合 】

◎ 業況判断DIは、マイナス1.2ポイントのマイナス62.1と若干悪化している。

- ・業況判断DIは、連続3回改善から若干悪化。
- ・売上高DIは、連続4回改善から悪化。
- ・経常利益DIは、連続4回改善から若干悪化。
- ・業種別推移では、不動産業、ホテル旅館業が大幅改善し、土産品小売業、卸売業が大幅悪化。
- ・地区別推移では、小田原中心市街地、箱根がほぼ横ばいで、小田原中心市街地以外が若干悪化。

経営状況では、売上高DI(マイナス4.5ポイント)で連続4回改善から悪化に転じている。経常利益DI(マイナス3.0ポイント)は、連続4回改善から若干悪化に転じている。

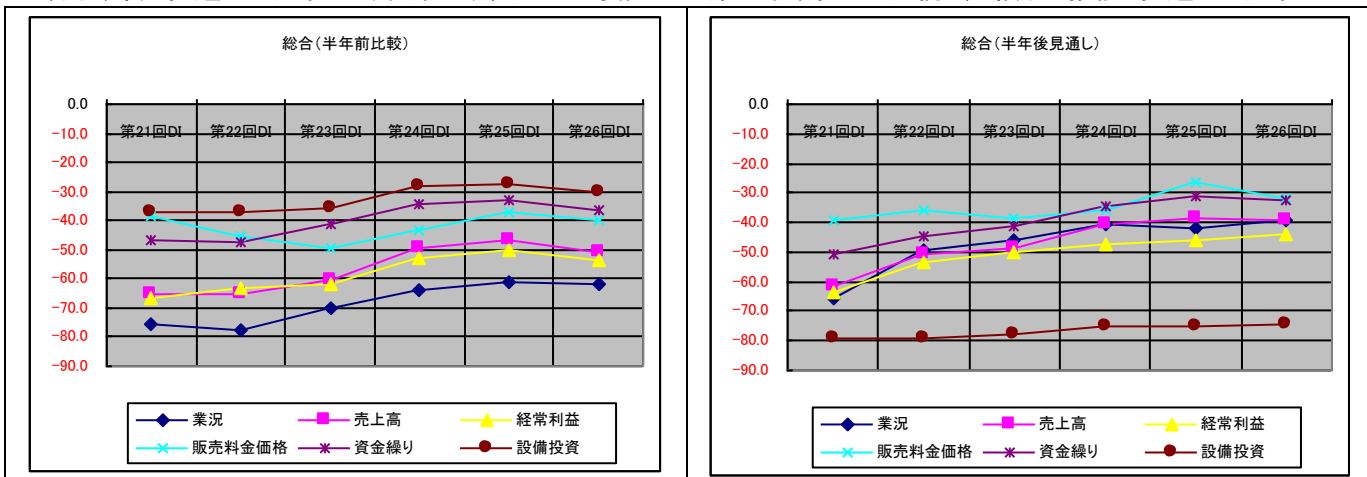
そして、在庫DI(マイナス5.9ポイント)が悪化し、資金繰りDI(マイナス3.1ポイント)、設備投資DI(マイナス2.5ポイント)、販売料金価格DI(マイナス2.2ポイント)、雇用パート・委託DI(マイナス1.3ポイント)が若干の悪化である。一方、雇用正規DI(プラス0.8ポイント)が若干の改善である。なお、在庫DIが第12回調査から連続プラス領域で推移している。

◎ 半年後の業況見込は、プラス3.1ポイントのマイナス39.1である。

- ・業況判断DI見通しは、若干改善の見通し。
- ・売上高DI見通しは、連続4回改善見通しからほぼ横ばいの悪化の見通し。
- ・経常利益DI見通しは、連続5回の改善の見通し。
- ・業種別見通しでは、交通運輸業、ホテル・旅館業が大幅改善の見通し、その他の業が大幅悪化の見通し。
- ・地区別見通しでは、箱根町が大幅改善の見通しであり、小田原地中心市街地以外が改善の見通しで、小田原中心市街地が横ばいの見通し。

経営見通しは、売上高DI(マイナス0.2ポイント)が連続4回改善の見通しからほぼ横ばいの悪化の見通しである。経常利益DI(プラス1.6ポイント)が連続5回改善の見通しである。

そして、販売料金価格DI(マイナス5.3ポイント)、在庫DI(マイナス3.9ポイント)が悪化の見通しで、資金繰りDI(マイナス1.4ポイント)が若干悪化の見通しである。一方、雇用パート・委託DI(プラス1.8ポイント)、設備投資DI(プラス0.4ポイント)、雇用正規DI(プラス0.1ポイント)が若干改善の見通しである。なお、在庫DI、雇用パート委託DIが第12回調査から連続プラス領域で推移の見通しである。



## 【経営状況】

○ 売上高DIは、マイナス 4.5 ポイントでマイナス 51.0 と連続4回改善から悪化。

不動産業、飲食業が大幅改善し、その他の業、小売業、サービス業が大幅悪化。

・大幅改善: 不動産業(プラス 29.2 ポイント)、飲食業(プラス 14.0 ポイント)

・大幅悪化: その他の業(マイナス 22.6 ポイント)、小売業(マイナス 13.5 ポイント)、サービス業(マイナス 11.9 ポイント)

○ 経常利益DIは、マイナス 3.0 ポイントでマイナス 53.3 と連続4回改善から若干悪化。

不動産業が大幅改善し、その他の業、サービス業が大幅悪化。

・大幅改善: 不動産業(プラス 33.1 ポイント)

・大幅悪化: その他の業(マイナス 29.5 ポイント)、サービス業(マイナス 13.0 ポイント)

○ 販売料金価格DIは、マイナス 2.2 ポイントでマイナス 39.6 と連続改善から若干悪化。

建設業、製造業が大幅改善し、ホテル・旅館業、土産品小売業、その他の業、サービス業が大幅悪化。

・大幅改善: 建設業(プラス 13.3 ポイント)、製造業(プラス 10.4 ポイント)

・大幅悪化: ホテル・旅館業(マイナス 21.8 ポイント)、土産品小売業(マイナス 18.7 ポイント)、その他の業(マイナス 15.7 ポイント)

サービス業(マイナス 12.6 ポイント)

○ 資金繰りDIは、マイナス 3.1 ポイントでマイナス 36.2 と連続3回の改善から若干悪化。

サービス業が大幅悪化。

・大幅悪化: サービス業(マイナス 10.6 ポイント)

○ 設備投資DIは、マイナス 2.5 ポイントでマイナス 30.1 と連続3回改善から若干悪化。

土産品小売業、交通運輸業、不動産業、ホテル・旅館業が大幅悪化。

・大幅悪化: 土産品小売業(マイナス 18.8 ポイント)、交通運輸業(マイナス 18.1 ポイント)、不動産業(マイナス 14.8 ポイント)  
ホテル・旅館業(マイナス 11.5 ポイント)

○ 在庫DIは、マイナス 5.9 ポイントでプラス 13.8 と悪化したが第 12 回調査から連続プラス領域で推移。

不動産業が大幅改善し、製造業、交通運輸業、卸売業、建設業が大幅悪化。

・大幅改善: 不動産業(プラス 17.4 ポイント)

・大幅悪化: 製造業(マイナス 17.7 ポイント)、交通運輸業(マイナス 12.9 ポイント)、卸売業(マイナス 11.7 ポイント)、

建設業(マイナス 11.3 ポイント)

○ 雇用正規DIは、プラス 0.8 ポイントでマイナス 11.3 とほぼ横ばいの連続改善。

製造業が大幅改善し、土産品小売業が大幅悪化。

・大幅改善: 製造業(プラス 13.5 ポイント)

・大幅悪化: 土産品小売業(マイナス 18.8 ポイント)

○ 雇用パート・委託DIは、マイナス 1.3 ポイントでマイナス 10.1 と連続3回改善から若干悪化。

経営状況	全体	製造業	卸売業	小売業	土産品 小売業	飲食業	ホテル 旅館業	建設業	不動産 業	交通運 輸業	サービ ス業	その 他の 業
<b>経営状況 DI</b>												
売上高	-51.0	-44.9	-60.7	-63.5	-68.8	-46.2	-42.9	-42.5	-26.3	-54.7	-49.6	-67.6
経常利益	-53.3	-56.6	-67.1	-53.9	-87.5	-58.5	-42.8	-51.0	-15.8	-57.2	-48.4	-59.5
販売料金価格	-39.6	-27.6	-39.2	-41.9	-18.7	-24.6	-57.1	-38.1	-57.9	-33.3	-50.3	-43.2
資金繰り	-36.2	-38.7	-45.6	-40.7	-50.0	-32.3	-31.0	-33.0	-15.8	-35.8	-36.0	-27.0
設備投資	-30.1	-26.2	-29.1	-29.3	-43.8	-38.5	-26.2	-38.1	-23.7	-38.1	-24.1	-27.0
在庫	13.8	2.7	10.1	19.7	18.7	27.7	26.2	14.4	26.3	7.1	8.5	13.5
雇用状況正規	-11.3	-4.1	-2.5	-12.0	-18.8	-20.0	-23.8	-13.7	-10.6	-9.5	-11.1	-16.2
雇用状況パート・委託	-10.1	-3.5	-11.4	-9.0	-18.8	-21.5	-16.7	-13.6	-7.9	-14.3	-5.2	-13.5
<b>経営状況 DI 前回増減</b>												
売上高	-4.5	-8.3	-9.4	-13.5	0.0	14.0	-4.6	1.8	29.2	2.8	-11.9	-22.6
経常利益	-3.0	-8.0	-9.5	-1.4	0.0	3.0	-1.7	4.8	33.1	2.8	-13.0	-29.5
販売料金価格	-2.2	10.4	-5.9	-7.6	-18.7	1.1	-21.8	13.3	4.3	4.2	-12.6	-15.7
資金繰り	-3.1	-9.2	-2.0	-0.7	6.3	3.6	-1.6	4.2	2.0	-5.8	-10.6	-7.0
設備投資	-2.5	1.9	-7.3	5.1	-18.8	-3.9	-11.5	-1.8	-14.8	-18.1	-3.3	8.0
在庫	-5.9	-17.7	-11.7	-1.5	0.0	2.0	-0.3	-11.3	17.4	-12.9	-3.8	3.5
雇用状況正規	0.8	13.5	1.4	-1.4	-18.8	-2.1	2.7	-2.2	2.8	-4.5	-2.6	-1.2
雇用状況パート・委託	-1.3	4.3	-14.0	-0.2	0.0	-6.1	9.8	-0.4	-3.4	-4.3	-2.9	1.5

## 【経営見通し】

○ 売上高DIは、マイナス0.2ポイントのマイナス39.1で連続4回改善の見通しからほぼ横ばいの悪化の見通し。

交通運輸業が大幅改善の見通しで、卸売業が大幅悪化の見通し。

・大幅改善見通し: 交通運輸業(プラス18.7ポイント)

・大幅悪化見通し: 卸売業(マイナス18.5ポイント)

○ 経常利益DIは、プラス1.6ポイントのマイナス44.2と若干改善の見通しで、連続5回改善の見通し。

建設業が大幅改善の見通し。

・大幅改善見通し: 建設業(プラス10.6ポイント)

○ 販売料金価格DIは、マイナス5.3ポイントのマイナス31.8と連続改善の見通しから悪化の見通し。

飲食業、小売業、ホテル・旅館業、卸売業が大幅悪化の見通し。

・大幅悪化見通し: 飲食業(マイナス16.7ポイント)、小売業(マイナス16.4ポイント)、ホテル旅館業(マイナス12.2ポイント)、

卸売業(マイナス11.1ポイント)

○ 資金繰りDIは、マイナス1.4ポイントのマイナス32.5と連続4回改善の見通しから若干悪化の見通し。

交通運輸業、土産品小売業が大幅改善の見通しで、その他の業、不動産業が大幅悪化の見通し。

・大幅改善見通し: 交通運輸業(プラス21.0ポイント)、土産品小売業(プラス18.7ポイント)

・大幅悪化見通し: その他の業(マイナス17.0ポイント)、不動産業(マイナス10.8ポイント)

○ 設備投資DIは、プラス0.4ポイントのマイナス74.4と若干改善の見通しで、連続5回改善の見通し。

交通運輸業、ホテル・旅館業が大幅な改善見通しで、土産品小売業、卸売業が大幅悪化の見通し。

・大幅改善見通し: 交通運輸業(プラス17.4ポイント)、ホテル・旅館業(プラス11.4ポイント)

・大幅悪化見通し: 土産品小売業(マイナス25.0ポイント)、卸売業(マイナス21.9ポイント)

○ 在庫DIは、マイナス3.9ポイントのプラス13.8と悪化の見通しであるが、第12回調査から連続プラス領域で推移。

不動産業、その他の業が大幅改善の見通しで、交通運輸業、製造業が大幅悪化の見通し。

・大幅改善見通し: 不動産業(プラス14.0ポイント)、その他の業(プラス11.4ポイント)

・大幅悪化見通し: 交通運輸業(マイナス17.7ポイント)、製造業(マイナス14.1ポイント)

○ 雇用正規DIは、プラス0.1ポイントのプラス3.1とほぼ横ばい改善の見通しで、連続3回改善の見通し。

○ 雇用パート・委託DIは、プラス1.8ポイントのプラス5.0と若干改善の見通しで、連続改善の見通し。

ホテル・旅館業、土産品小売業が大幅改善の見通し。

・大幅改善見通し: ホテル・旅館業(プラス16.6ポイント)、土産品小売業(プラス12.4ポイント)

経営見通し	全体	製造業	卸売業	小売業	土産品 小売業	飲食業	ホテル 旅館業	建設業	不動産 業	交通運 輸業	サービ ス業	その 他の 業
<b>経営見通しDI</b>												
売上高	-39.1	-27.5	-55.7	-53.3	-81.3	-40.0	-23.9	-41.7	-26.3	-23.8	-32.1	-32.4
経常利益	-44.2	-38.6	-50.6	-53.9	-75.0	-43.0	-33.4	-46.0	-29.0	-42.8	-39.2	-40.5
販売料金価格	-31.8	-25.5	-31.6	-38.3	-12.5	-23.1	-35.7	-37.4	-42.1	-19.0	-32.7	-24.3
資金繰り	-32.5	-26.2	-44.3	-39.5	-43.8	-29.2	-23.9	-35.9	-26.3	-19.0	-30.7	-27.0
設備投資	-74.4	-72.4	-86.1	-83.8	-100.0	-72.3	-23.8	-82.0	-78.9	-47.6	-71.9	-73.0
在庫	13.8	3.5	5.0	19.7	12.5	26.2	11.9	21.6	18.4	2.3	10.4	18.9
雇用状況正規	3.1	-4.8	-6.3	4.8	-6.3	6.1	11.9	4.3	13.2	14.3	3.3	8.1
雇用状況パート・委託	5.0	0.0	1.3	2.4	6.2	9.2	16.6	6.5	7.9	0.0	9.2	2.7
<b>経営見通しDI 前回増減</b>												
売上高	-0.2	2.1	-18.5	-5.2	-6.3	-5.4	5.5	7.9	-1.9	18.7	3.3	2.6
経常利益	1.6	2.2	4.5	-2.0	-6.3	-1.9	-4.0	10.6	-0.1	9.7	1.6	-8.0
販売料金価格	-5.3	4.8	-11.1	-16.4	-6.3	-16.7	-12.2	4.2	0.1	6.0	-4.2	3.2
資金繰り	-1.4	1.9	-7.2	1.8	18.7	-3.6	-3.3	3.0	-10.8	21.0	-7.6	-17.0
設備投資	0.4	-6.9	-21.9	-0.6	-25.0	8.4	11.4	9.2	-1.1	17.4	1.2	9.5
在庫	-3.9	-14.1	-9.1	-4.7	-6.2	-2.0	-5.8	5.7	14.0	-17.7	-3.5	11.4
雇用状況正規	0.1	-2.0	-3.8	-2.1	-6.3	1.0	6.0	-0.1	8.7	9.3	0.2	3.1
雇用状況パート・委託	1.8	-1.5	2.6	-3.8	12.4	5.4	16.6	2.9	7.9	-5.0	4.6	-4.8

【業種概要】

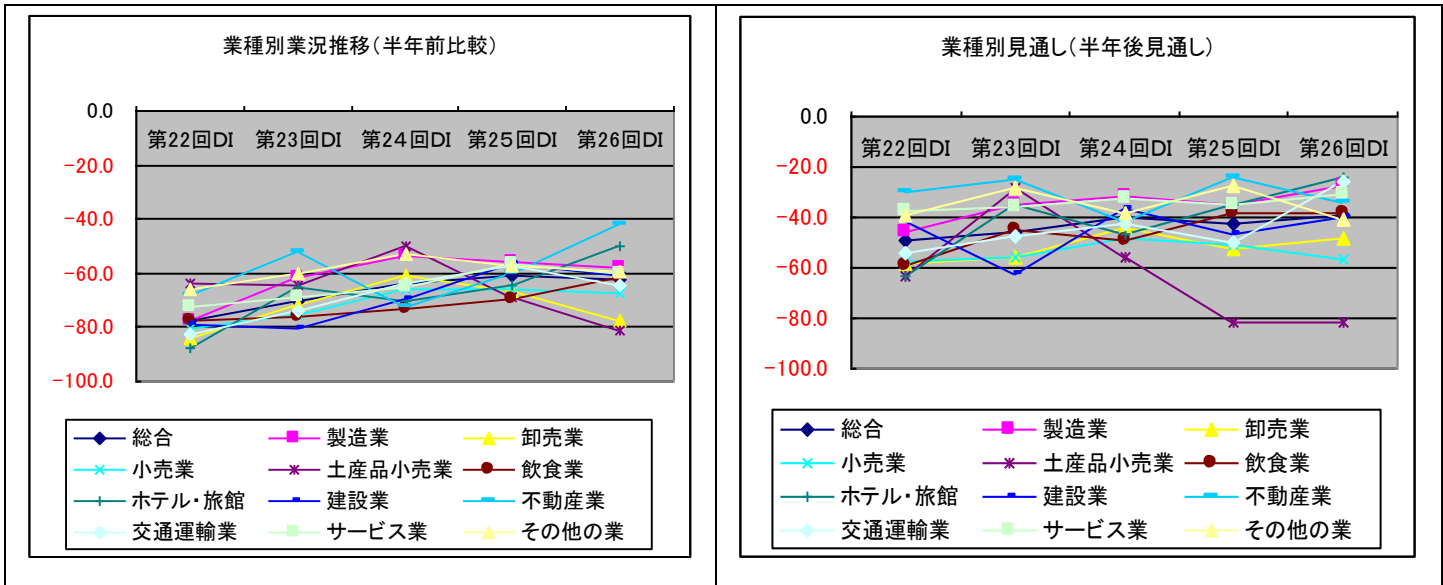
- ・業況判断上位3位：不動産業、ホテル・旅館業、製造業。 下位3位：土産品小売業、卸売業、小売業。
- ・業況見通し上位3位：ホテル・旅館業、交通運輸業、製造業。 下位3位：土産品小売業、小売業、卸売業。
- ・業況判断では、不動産業、ホテル旅館業が大幅改善し、土産品小売業、卸売業が大幅悪化。
- ・業況見通しでは、交通運輸業、ホテル・旅館業が大幅改善の見通しで、その他の業が大幅悪化の見通し。

業種別業況は、業況判断総合DI(マイナス 62.1)に比べて良いのが不動産業(マイナス 42.1)、ホテル・旅館業(マイナス 50.0)、製造業(マイナス 58.0)、その他の業(マイナス 59.5)、サービス業(マイナス 60.1)、建設業(マイナス 61.2)、飲食業(マイナス 61.6)の7業種で、悪いのが土産品小売業(マイナス 81.3)、卸売業(マイナス 77.2)、小売業(マイナス 67.7)、交通運輸業(マイナス 64.2)の4業種である。

半年後の業種別業況は、業況判断総合DI(マイナス 39.1)に比べて良い見通しがホテル・旅館業(マイナス 23.8)、交通運輸業(マイナス 26.2)、製造業(マイナス 27.6)、サービス業(マイナス 30.7)、不動産業(マイナス 34.2)、飲食業(マイナス 38.5)の6業種で、悪い見通しが土産品小売業(マイナス 81.3)、小売業(マイナス 56.3)、卸売業(マイナス 48.1)、その他の業(マイナス 40.5)、建設業(マイナス 39.6)の5業種である。

業況判断動向では、不動産業(プラス 17.9ポイント)、ホテル・旅館業(プラス 14.7ポイント)が大幅改善し、飲食業(プラス 7.7ポイント)が改善である。一方、土産品小売業(マイナス 12.5ポイント)、卸売業(マイナス 10.6ポイント)が大幅悪化であり、交通運輸業(マイナス 6.7ポイント)、建設業(マイナス 4.5ポイント)、サービス業(マイナス 3.9ポイント)が悪化で、製造業(マイナス 2.3ポイント)、小売業(マイナス 2.1ポイント)、その他の業(マイナス 2.0ポイント)が若干悪化である。

業況判断動向見通しでは、交通運輸業(プラス 23.8ポイント)、ホテル旅館業(プラス 11.5ポイント)が大幅改善の見通しであり、製造業(プラス 7.6ポイント)、建設業(プラス 7.3ポイント)、サービス業(プラス 4.6ポイント)、卸売業(プラス 4.4ポイント)が改善の見通しである。一方、その他の業(マイナス 13.0ポイント)が大幅悪化の見通しであり、不動産業(マイナス 9.7ポイント)、小売業(マイナス 5.1ポイント)が悪化の見通しで、飲食業(マイナス 0.1ポイント)、土産品小売業(マイナス 0.0ポイント)がほぼ横並びの見通しである。



業況判断DIランキング

1位	不動産業	-42.1	5位	サービス業	-60.1	9位	小売業	-67.7
2位	ホテル・旅館	-50.0	6位	建設業	-61.2	10位	卸売業	-77.2
3位	製造業	-58.0	7位	飲食業	-61.6	11位	土産品小売業	-81.3
4位	その他の業	-59.5	8位	交通運輸業	-64.2			

業況判断DI見通しランキング

1位	ホテル・旅館	-23.8	5位	不動産業	-34.2	9位	卸売業	-48.1
2位	交通運輸業	-26.2	6位	飲食業	-38.5	10位	小売業	-56.3
3位	製造業	-27.6	7位	建設業	-39.6	11位	土産品小売業	-81.3
4位	サービス業	-30.7	8位	その他の業	-40.5			

## ◎ 業種別のポイント

- 【製造業】**
- ・業況 DI は、連続で若干悪化。業況 DI 見通しは、改善の見通し。
  - ・売上高 DI は、連続4回改善から悪化。経常利益 DI は、連続悪化。売上高 DI 見通しは、若干改善の見通し。経常利益 DI は、連続で若干改善の見通し。
  - ・雇用正規DI、販売料金価格 DI が大幅改善。在庫 DI が大幅悪化。在庫 DI が大幅悪化の見通し。
- 【卸売業】**
- ・業況 DI は、連続悪化。業況見 DI 見通しは、改善の見通し。
  - ・売上高 DI は、連続悪化。経常利益 DI も連続悪化。売上高 DI 見通しは、3回連続改善の見通しから大幅悪化の見通し。経常利益 DI 見通しは、連続改善の見通し。
  - ・雇用パート・委託 DI、在庫 DI が大幅悪化。設備投資 DI、販売料金価格 DI が大幅悪化の見通し。
- 【小売業】**
- ・業況 DI は、連続3回改善から若干悪化。業況 DI 見通しは、連続悪化の見通し。
  - ・売上高 DI は、連続3回改善から大幅悪化。経常利益 DI は、若干悪化。売上高 DI 見通しは、連続改善の見通しから悪化の見通し。経常利益 DI 見通しは、連続若干悪化の見通し。
  - ・販売価格 DI が大幅悪化の見通し。
- 【土産品小売業】**
- ・業況 DI は、連続大幅悪化。業況 DI 見通しは、横ばい見通し。
  - ・売上高 DI は、横ばい。経常利益 DI も横ばい。
  - ・売上高 DI 見通しは、連続3回悪化の見通し。経常利益 DI 見通しも連続3回悪化の見通し。
  - ・設備投資 DI、雇用正規 DI、販売料金価格 DI が大幅悪化。資金繰り DI、雇用パート・委託 DI が大幅改善の見通し。設備投資 DI が大幅悪化の見通し。
- 【飲食業】**
- ・業況 DI は、4回連続改善。業況 DI 見通しは、ほぼ横ばいの悪化の見通し。
  - ・売上高 DI は、大幅改善で連続3回改善。経常利益 DI は、若干改善。売上高 DI 見通しは、悪化。経常利益 DI 見通しは、若干悪化の見通し。
  - ・販売料金価格 DI が大幅悪化の見通し。
- 【ホテル・旅館業】**
- ・業況 DI は、連続改善。業況 DI 見通しは、連続大幅改善の見通し。
  - ・売上高 DI は、連続4回の改善から悪化に転じ。経常利益 DI は、連続3回改善から若干悪化に転じ。売上高 DI 見通しは、改善の見通し。経常利益 DI は、悪化の見通し。
  - ・販売料金価格 DI、設備投資 DI が大幅悪化。
  - ・雇用パート・委託 DI、設備投資 DI が大幅改善の見通し。販売料金価格 DI が大幅悪化の見通し。
- 【建設業】**
- ・業況 DI は、連続改善から悪化。業況 DI 見通しは、改善の見通し。
  - ・売上高 DI は、若干改善で連続3回改善。経常利益 DI は、改善で連続3回改善。売上高 DI 見通しは、改善の見通し。経常利益 DI は、大幅改善の見通し。
  - ・販売料金価格 DI が大幅改善。在庫 DI が大幅悪化。
- 【不動産業】**
- ・業況 DI は、連続大幅改善。業況 DI 見通しは、悪化の見通し。
  - ・売上高 DI は、大幅改善。経常利益 DI は、大幅改善で連続3回改善。売上高 DI 見通しは、連続4回改善から若干悪化の見通し。経常利益 DI は、ほぼ横ばいの悪化の見通し。
  - ・在庫 DI が大幅改善。設備投資 DI が大幅悪化。在庫 DI が大幅改善の見通し。資金繰り DI が大幅悪化の見通し。
- 【交通運輸業】**
- ・業況 DI は、連続3回改善から悪化。業況 DI 見通しは、大幅改善の見通し。
  - ・売上高 DI は、3回連続悪化から若干改善。経常利益 DI も若干改善。売上高 DI 見通しは、連続悪化から大幅改善の見通し。経常利益 DI 見通しは、改善の見通し。
  - ・設備投資 DI、在庫 DI が大幅悪化。資金繰り DI、設備投資 DI が大幅改善の見通し。在庫 DI が大幅悪化の見通し。
- 【サービス業】**
- ・業況 DI は、連続4回改善から悪化。業況 DI 見通しは、改善の見通し。
  - ・売上高 DI は、連続4回改善から大幅悪化。経常利益 DI も4連続改善から大幅悪化。売上高 DI 見通しは、若干改善の見通し。経常利益 DI 見通しは、連続3回若干改善の見通し。
  - ・販売料金価格 DI、資金繰り DI が大幅悪化。
- 【その他の業種】**
- ・業況 DI は、連続の若干悪化。業況 DI 見通しは、大幅悪化の見通し。
  - ・売上高 DI は、大幅悪化。経常利益 DI も大幅悪化。売上高 DI 見通しは、連続若干改善の見通し。経常利益 DI は、悪化の見通し。
  - ・販売料金価格 DI が大幅悪化。在庫 DI が大幅改善の見通し。資金繰り DI が大幅悪化の見通し。

【地区別】

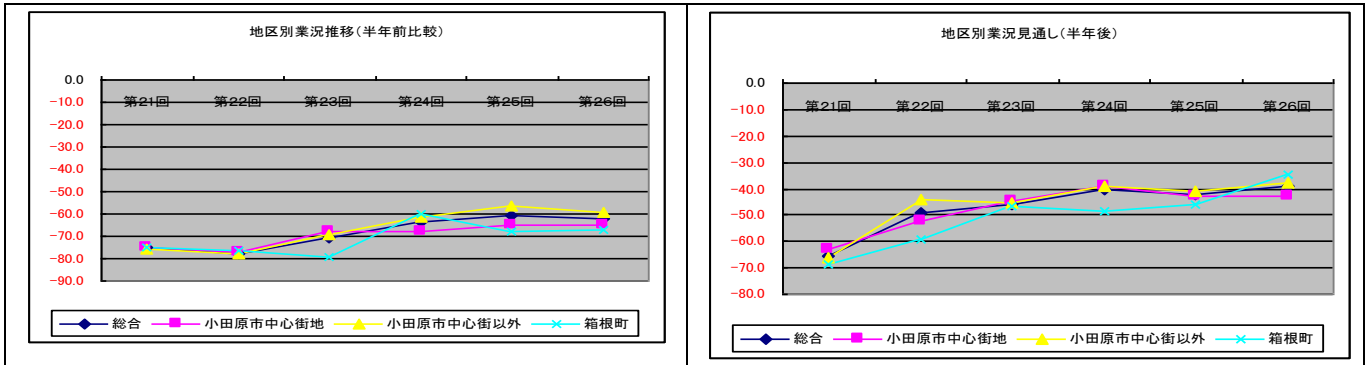
◎ 業況DIでは、小田原市中心市街地以外、小田原市中心市街地、箱根町の順。

地区別業況DIは、小田原市中心市街地以外(マイナス59.2)、小田原市中心市街地(マイナス65.0)、箱根町(マイナス67.3)の順である。前回増減では、箱根町(プラス0.3ポイント)がほぼ横ばいの改善であり、小田原市中心市街地(プラスマイナス0.0ポイント)が横ばいで、小田原市中心市街地以外(マイナス2.6ポイント)が若干悪化である。

◎ 業況見通しでは、箱根町、小田原市中心市街地以外、小田原市中心市街地の順の見通し。

・箱根町の業況見通しが大幅改善見の見通し。

地区業況DIの見通しは、箱根町(マイナス34.6)、小田原市中心市街地以外(マイナス37.7)、小田原市中心市街地(マイナス43.0)の順の見通しである。前回増減では、箱根町(プラス11.3ポイント)が大幅改善の見通しであり、小田原市中心市街地以外(プラス3.1ポイント)が若干改善の見通しで、小田原市中心市街地(プラスマイナス0.0ポイント)が横ばいの見通しである。



業種別 業況DI 推移	半年前比較							半年後見通し							
	第21回 H.21年 2月	第22回 H.21年 8月	第23回 H.22年 2月	第24回 H.22年 8月	第25回 H.23年 2月	第26回 H.23年8月		第21回 H.21年 2月	第22回 H.21年 8月	第23回 H.22年 2月	第24回 H.22年 8月	第25回 H.23年 2月	第26回 H.23年8月		
							DI	前回 増減							DI
総合	-75.3	-77.6	-70.4	-63.6	-60.9	-62.1	-1.2	-65.5	-49.1	-45.7	-40.3	-42.2	-39.1	3.1	
小田原中心街	-75.0	-77.0	-68.0	-68.0	-65.0	-65.0	0.0	-63.0	-52.0	-45.0	-39.0	-43.0	-43.0	0.0	
小田原中心以外	-75.4	-77.9	-69.2	-61.7	-56.6	-59.2	-2.6	-66.4	-44.3	-45.6	-38.9	-40.8	-37.7	3.1	
箱根町	-75.0	-76.3	-79.2	-59.9	-67.6	-67.3	0.3	-68.6	-59.2	-46.7	-48.6	-45.9	-34.6	11.3	

地区別の業況判断D I		小田原市中心市街地		小田原市中心市街地以外		箱根町	
全体業況DI		-65.0		-59.2		-67.3	
業種別 業況DI順位	1位	不動産業	-45.0	ホテル・旅館	-30.0	飲食	-55.0
	2位	飲食	-52.4	不動産業	-35.3	建設	-63.6
	3位	サービス	-59.3	その他	-50.0	ホテル・旅館	-65.0
	4位	交通運輸	-61.5	製造業	-53.6	その他	-66.7
	5位	小売業	-69.5	建設	-58.8	小売業	-68.8
	6位	建設	-70.0	サービス	-59.3	サービス	-69.2
	7位	製造業	-72.7	土産品小売業	-60.0	卸売業	-83.3
	8位	卸売業	-76.2	小売業	-65.2	土産品小売業	-88.9
	9位	その他	-80.0	交通運輸	-65.5	不動産業	-100.0
	10位	土産品小売業	-100.0	飲食	-75.0	01 製造業	-
	11位	ホテル・旅館	-100.0	卸売業	-76.9	09 交通運輸	-
全体業況DI見通し		-43.0		-37.7		-34.6	
業種別 業況DI見通し順位	1位	交通運輸	7.7	サービス	-23.5	不動産業	100.0
	2位	不動産業	-20.0	製造業	-25.0	ホテル・旅館	-15.0
	3位	製造業	-36.4	ホテル・旅館	-25.0	サービス	-30.8
	4位	サービス	-40.7	飲食	-33.3	建設	-31.8
	5位	飲食	-42.9	その他	-37.5	卸売業	-33.3
	6位	建設	-45.0	建設	-40.2	その他	-33.3
	7位	土産品小売業	-50.0	交通運輸	-41.4	小売業	-37.5
	8位	その他	-50.0	卸売業	-44.2	飲食	-40.0
	9位	小売業	-54.9	不動産業	-58.8	土産品小売業	-88.9
	10位	卸売業	-61.9	小売業	-62.3	製造業	-
	11位	ホテル・旅館	-100.0	土産品小売業	-80.0	交通運輸	-

**【小田原市中心市街地地区】**

- 業況 DI は、横ばい。業況見通しも横ばい。
  - ・大幅な改善業種 : 不動産業(プラス 18.6 ポイント)、飲食業(プラス 16.9 ポイント)、製造業(プラス 14.8 ポイント)
  - ・大幅な悪化業種 : ホテル・旅館業(マイナス 150.0 ポイント)、交通運輸業(マイナス 34.3 ポイント)、土産品小売業(マイナス 31.2 ポイント)、その他の業(マイナス 17.5 ポイント)
  - ・大幅な改善見通し業種: 土産品小売業(プラス 50.0 ポイント)、交通運輸業(プラス 44.1 ポイント)、製造業(プラス 16.8 ポイント)
  - ・大幅な悪化見通し業種: ホテル・旅館業(マイナス 100.0 ポイント)、その他の業(マイナス 31.3 ポイント)
- 売上高 DI は、連続悪化。経常利益 DI は、横ばい。
- 売上高 DI 見通しは、若干悪化の見通し。経常利益 DI 見通しは、改善の見通し。

**【小田原市中心市街地以外地区】**

- 業況 DI は、連続3回改善から若干悪化。業況見通しは、若干改善の見通し。
  - ・大幅な改善業種 : 土産品小売業(プラス 40.0 ポイント)、不動産業(プラス 21.8 ポイント)、ホテル・旅館業(プラス 20.0 ポイント)、その他の業(プラス 11.1 ポイント)
  - ・大幅な悪化業種 : 卸売業(マイナス 19.8 ポイント)
  - ・大幅な改善見通し業種: ホテル・旅館業(プラス 25.0 ポイント)、飲食業(プラス 16.7 ポイント)、交通運輸業(プラス 14.2 ポイント)
  - ・大幅な悪化見通し業種: 土産品小売業(マイナス 80.0 ポイント)、不動産業(マイナス 30.3 ポイント)
- 売上高 DI、経常利益 DI ともに連続4回改善から悪化。  
売上高 DI 見通しは、ほぼ横ばい悪化の見通し。経常利益 DI 見通しは、連続3回若干改善の見通し。

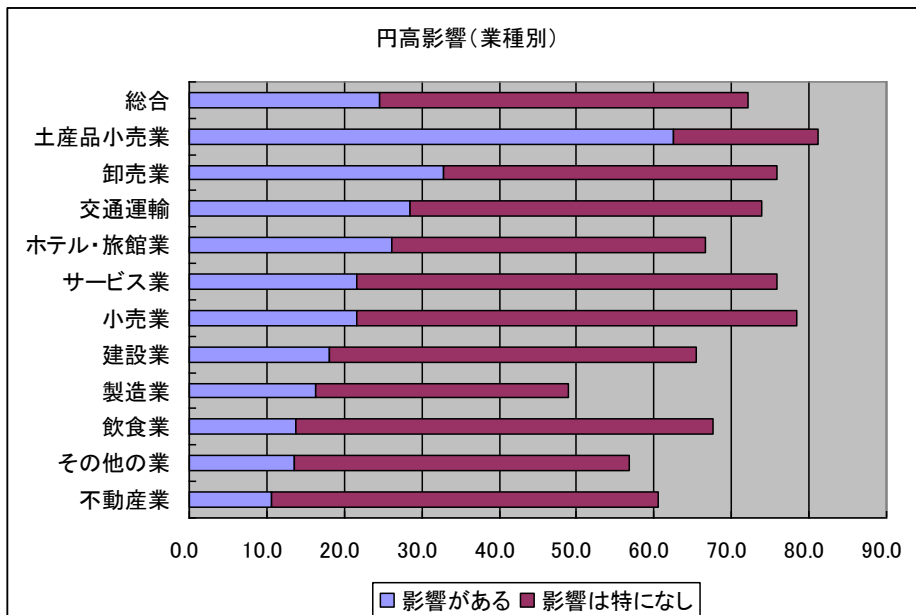
**【箱根町地区】**

- 業況 DI は、ほぼ横ばい改善。業況見通しは、大幅改善の見通しで連続改善。
  - ・大幅な改善業種 : 飲食業(プラス 12.7 ポイント)、サービス業(プラス 10.8 ポイント)
  - ・大幅な悪化業種 : 不動産業(マイナス 50.0 ポイント)、その他の業(マイナス 33.3 ポイント)、土産品小売業(マイナス 19.7 ポイント)、建設業(マイナス 17.0 ポイント)
  - ・大幅な改善見通し業種: 不動産業(プラス 150.0 ポイント)、卸売業(プラス 46.7 ポイント)、サービス業(プラス 29.2 ポイント)、ホテル・旅館業(プラス 21.7 ポイント)
- 売上高 DI は、連続悪化。経常利益 DI は、連続悪化。  
売上高 DI 見通しは、大幅悪化の見通し。経常利益 DI 見通しは、悪化の見通し。

**円高影響**

- 円高の影響がある企業は、全体で 24.5%である。  
全体の影響 24.5%より大きな影響がある業種としては、土産品小売業、卸売業、交通運輸業、ホテル・旅館業の4業種である。  
外国人観光客の減少による土産品小売業、交通運輸業、ホテル・旅館業への影響が窺われる。
- 円高の影響が特にならない企業は、全体で 47.7%である。  
全体の影響 47.7%より影響の少ない業種としては、小売業、サービス業、飲食業、不動産業の4業種である。

	影響	
	ある	なし
不動産業	10.5	50.0
その他の業	13.5	43.2
飲食業	13.8	53.8
製造業	16.3	32.6
建設業	18.0	47.5
小売業	21.6	56.9
サービス業	21.6	54.2
<b>全体</b>	<b>24.5</b>	<b>47.7</b>
ホテル・旅館業	26.2	40.5
交通運輸	28.6	45.2
卸売業	32.9	43.0
土産品小売業	62.5	18.8



(財)神奈川県産業振興センターの中小企業景気動向調査(平成23年10月6日発表)の神奈川県の3ヶ月前比較業況は、プラス5.8ポイントのマイクス50.5であり、足柄上・西湘地区業況は、プラス9.5ポイントのマイクス59.3である。

当会議所調査業況マイクス62.1は、神奈川県全体、足柄上・西湘地区より悪い状況である。

半年後の業況見通しでは、神奈川県全体業況マイクス45.9、足柄上・西湘地区業況マイクス56.0に比べて、当会議所調査業況マイクス39.1は、神奈川県全体、足柄上・西湘地区景況感より良い見通しである。

以上

問合せ先 小田原箱根商工会議所中小企業相談部

担当電話番号 0465-23-1811